

「地域の、児童生徒の避難所としての機能へ」

【令和4年の活動】

「地域」についての学校施設の役割 成果と課題

地域に岡山南支援学校が避難場所として安心な施設であることを知っていただくことができた。

- ・岡山市は避難指示を出す場合、「岡山市が開設する避難場所兼避難所」に岡山市職員を派遣し、避難場所を開設し運営をする。
(興除地区の場合は、興除小学校、興除中学校、興除公民館)
- ・開設した避難場所が運営が困難な状況になったとき、協定に基づき、岡山市から岡山南支援学校へ開設依頼がある。
- ・岡山南支援学校を避難場所として開設するときは、岡山市職員が運営する。
- ・地域の方が利用したいときに利用できない。

「地域の、児童生徒の避難所としての機能へ」

【令和4年の活動】

「児童生徒」にとって、災害が発生したときの学校の役割 成果と課題

避難訓練や対応マニュアルの確認で、児童生徒を安全に避難させる意識が向上

- ・想定外の災害が起こったときの判断…いろいろな場合のシミュレーションが必要
- ・南支援学校から、箕島小学校への避難経路

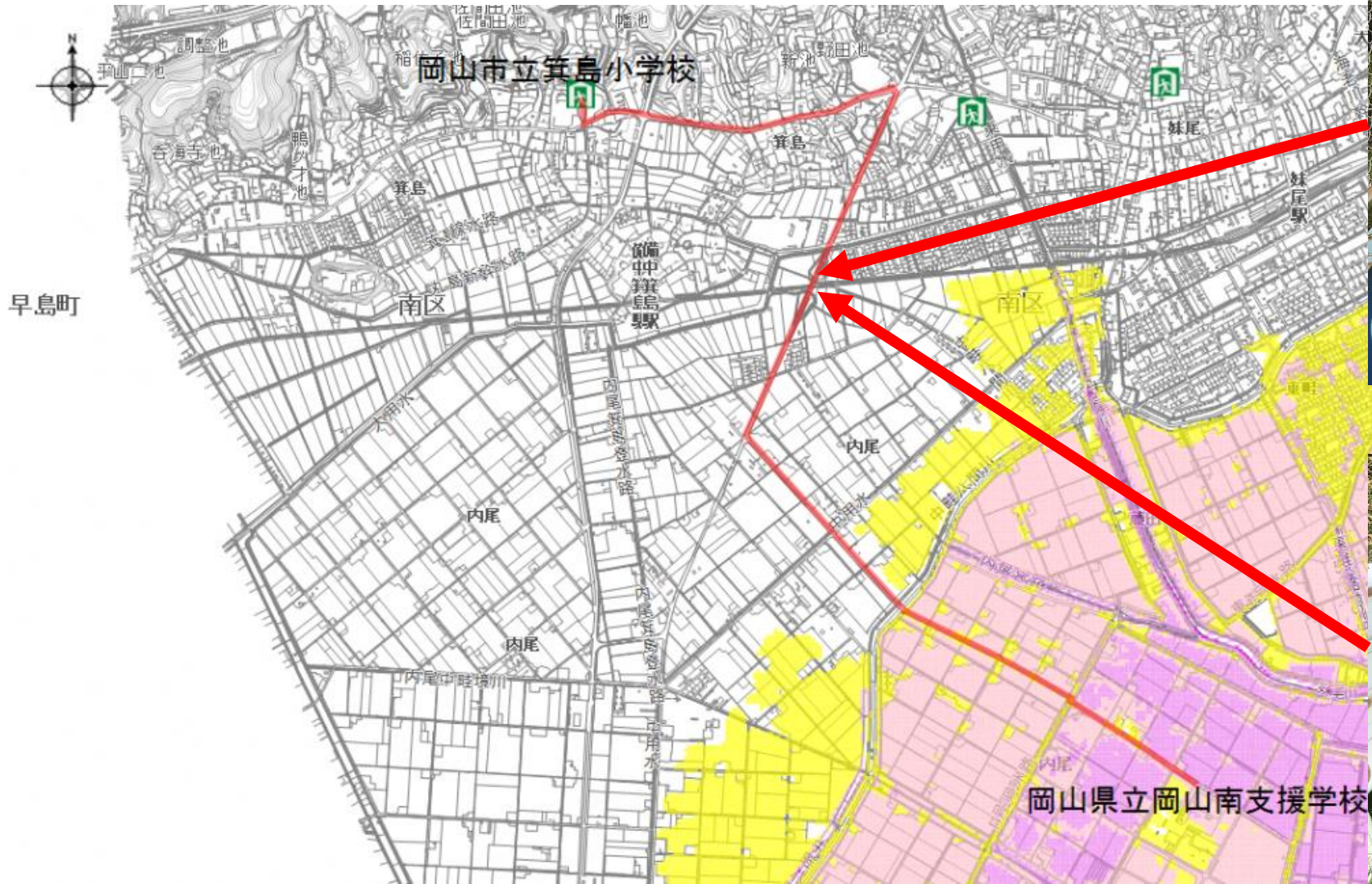
【岡山市の想定】 南海トラフ巨大地震が発生すると、最大津波高2.6m
(南区小串付近)、津波到達時間約2時間50分で到達

【岡山南支援学校の避難確保計画】

岡山市危機管理室に南支援学校の避難確保計画を確認していただいた。

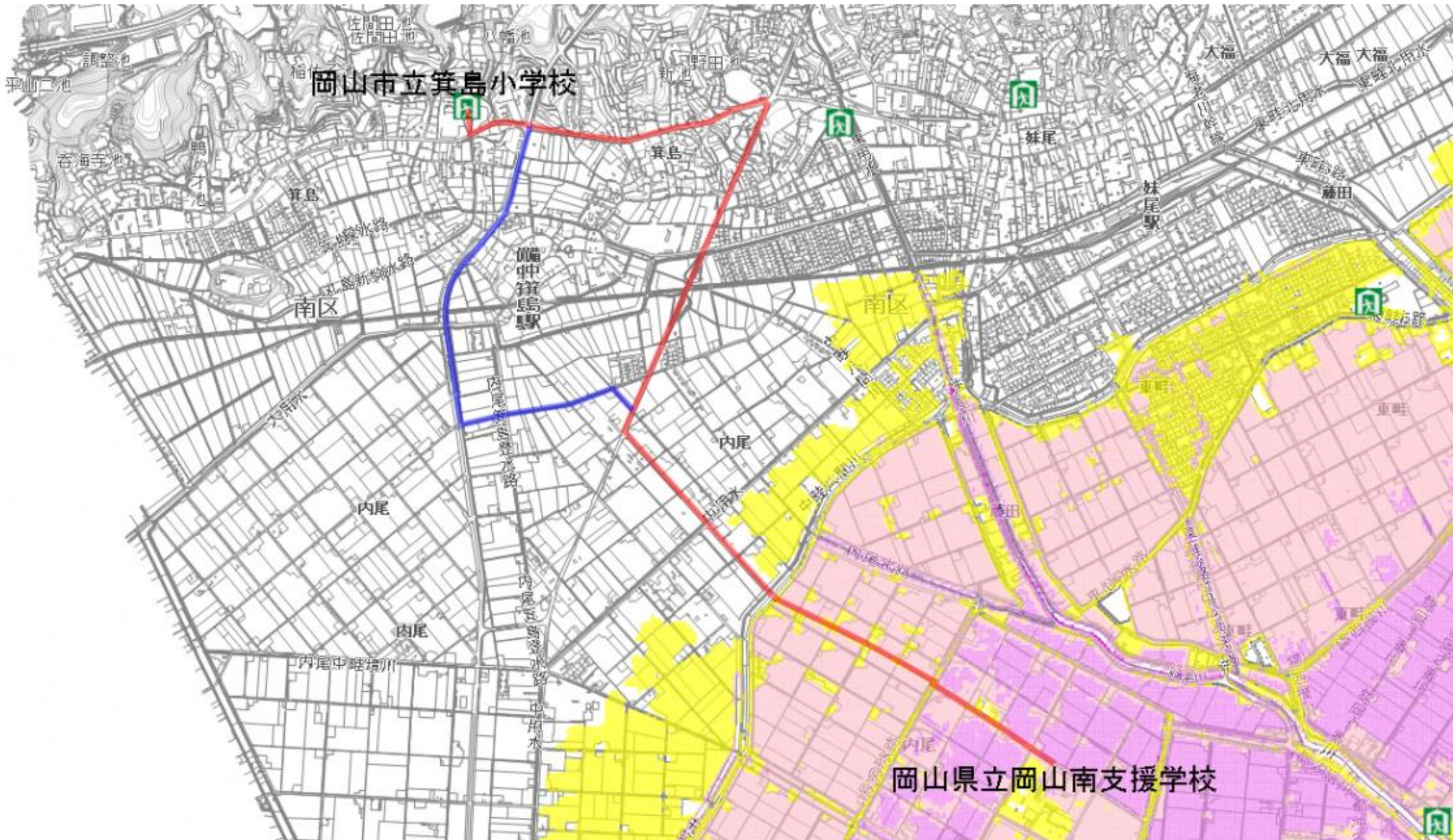
津波浸水区域外の岡山市立箕島小学校へ避難すること、2時間で移動することは、適切である、との見解。

旧児島線道路の通行等に安全性の問題が見られた。





早島町



岡山市立箕島小学校

岡山県立岡山南支援学校